

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [二宮尊徳伝 \(7\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

二宮尊徳伝 (7)

お百姓のなかにも多額の借金を抱えているものが少なからずおりました。尊徳はここでも「五常講」のやり方を発展させた「報徳金」という制度を取り入れました。「無利息金貸付」と名付けられた方法で始められたこの制度は、借入れた人はその金で古い借金を精算して、新しい借金の元金を年賦で償還します。たとえば5両を借りた人は、毎年1両ずつを5年間で返済します。当時は利息が年利20%くらいでしたから、世間一般のやり方に従えば「5両の借金で1両ずつ」ならば利息にしかなりません。元金は少しも減らず、永久に利息だけを払い続けるということになります。ところが尊徳の方式によれば、5年で借金が完済できることになりました。そこで（こんなにありがたいことはありません）…という気持ちを込めて、もう1年分を“真加金”として納めます。この真加金は感謝の気持ちを表すお礼のお金であって決して利息ではありませんが、仮に利息とみなせば年利3.3%という低利になります。

お百姓たちのやる気もだんだんと出てきます。放置されていた荒地の開墾を進めるために、尊徳は近隣の村々からも人夫を募りました。お百姓たちにとっても借金返済のための賃金稼ぎになりますから大助かりです。しかしそれだけでは殿様と約束した年貢倍増には追いつきません。

そこで尊徳は、越後（新潟県）や加賀（石川県）などから、入植者が定着しやすいような方法を講じた上で入植希望者を集めました。入植者たちは故郷を出るときに覚悟を決めていますから、一所懸命に精を出して開墾に励みました。

尊徳は、人々の勤労意欲を振り起こしながら、村落共同体の再構築を目指しました。そのための方法として、村で行われていた「寄り合い」を活用しました。彼はそれを“芋こじ”と名づけました。「芋こじ」の本来の意味は、里芋を水と一緒に桶に入れて、“こじ棒”でゴロゴロとこじりながら汚れを洗い落とししていくことです。彼は、寄り合いでの話し合いが“芋こじ”と同じような作用をし人々の心を清浄にして、村人同士が互いに協力し合っていけるように指導したのです。

(8) に続く

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> 一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.